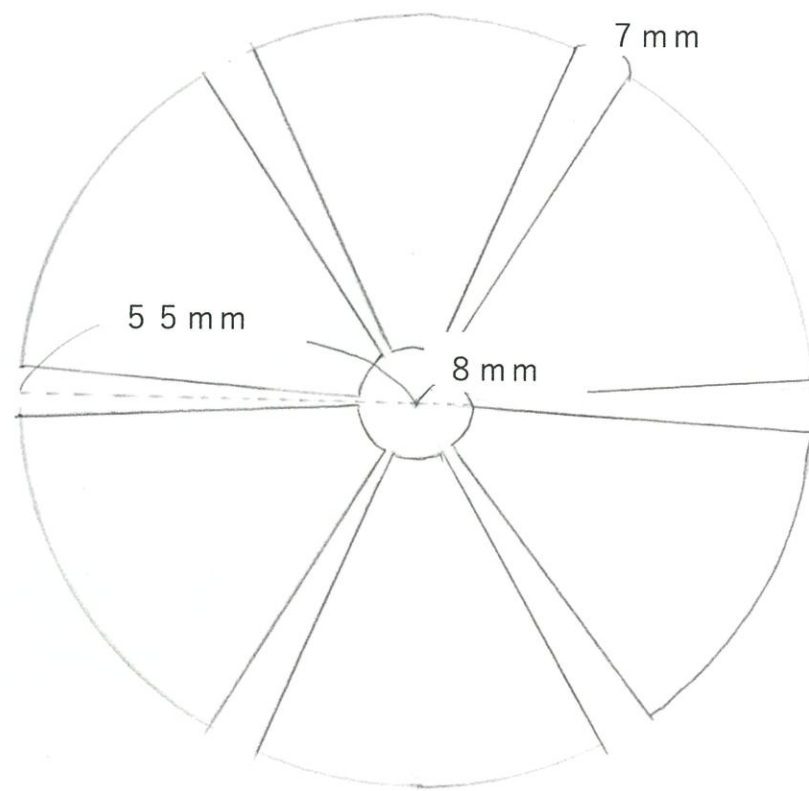


『火を灯す照明』 ～非日常を味わう読書時間を～

コロナウイルスの影響で家にいる時間が長くなったことでメディアにふれて、ブルーライトを浴びる時間が増えたことに配慮し目に優しい照明を目指した。そこでスウェーデンーチから発想を得て、木の隙間から火に近い色の優しい光が零れるようなデザインにした。アウトドアを楽しんでいるような非日常を感じることができる。木の足元にあるつまみによる光の調節することで火が上からだんだん全体に広がり、消えていく過程を再現することができる。おおさか河内材をできるだけそのまま活かして木目や肌触りを感じながら、読書を楽しんでほしいと思う。

上から見た図



光り方

